

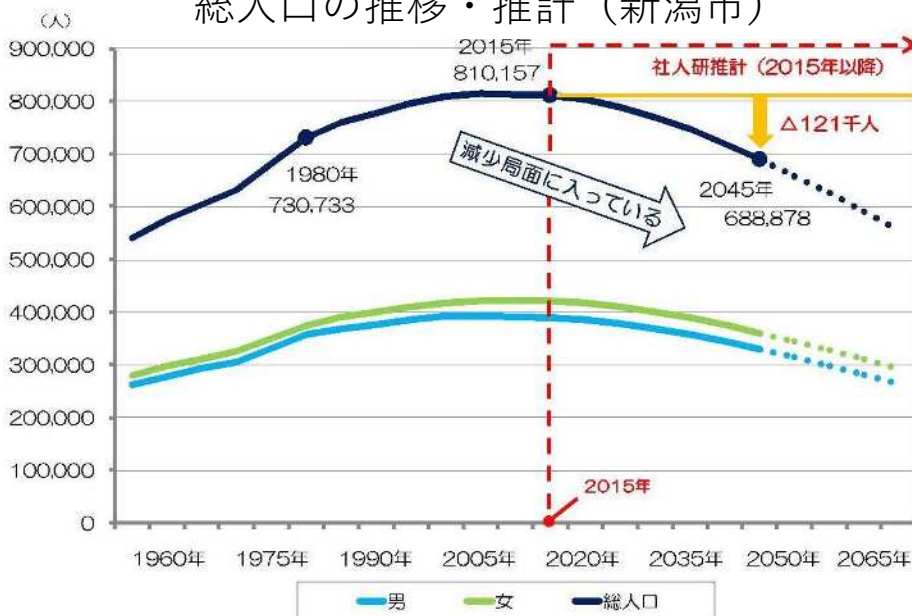
# 新潟市第3次花育推進計画の 策定に向けて

R3.8.20 第1回新潟市花育推進委員会資料  
新潟市農林水産部食と花の推進課

## 新潟市の現状（人口）

～第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020-2024）～

### 総人口の推移・推計（新潟市）



出典：国勢調査（1980年～2015年：総務省）、国立社会保障・人口問題研究所推計（2020年～2045年）

### 年齢階級別の人口移動の状況（新潟市）



20～24歳の転出超過が最も多く、その傾向は年々拡大

出典：住民基本台帳人口移動報告（2012年～2019年：総務省）

注記：日本人のみ

## 市内企業の認知度と情報の入手経路（高校生・大学生等）

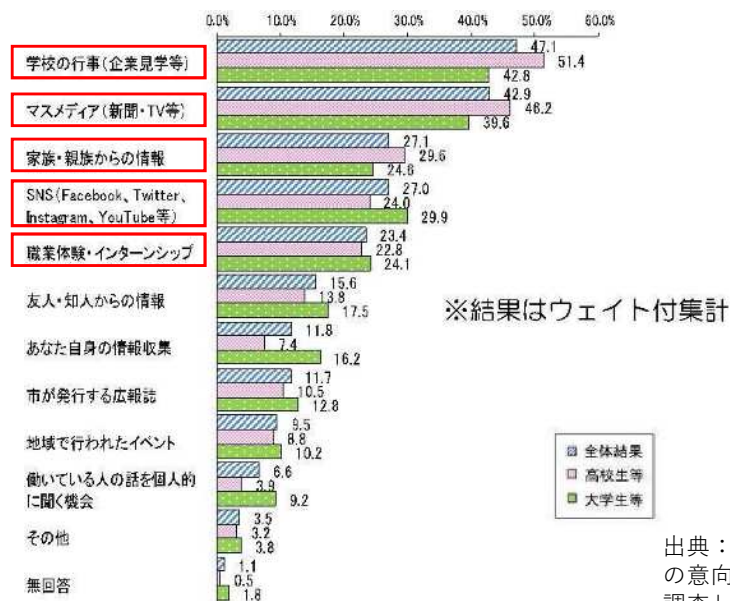


出典：若者の市外転出の意向状況にかかるアンケート調査（2019年度）

注記：ウェイト付き集計結果の小数点第1位を四捨五入しているため、全体の割合は100%にならない。

5

## 地元企業に関する情報の入手経路



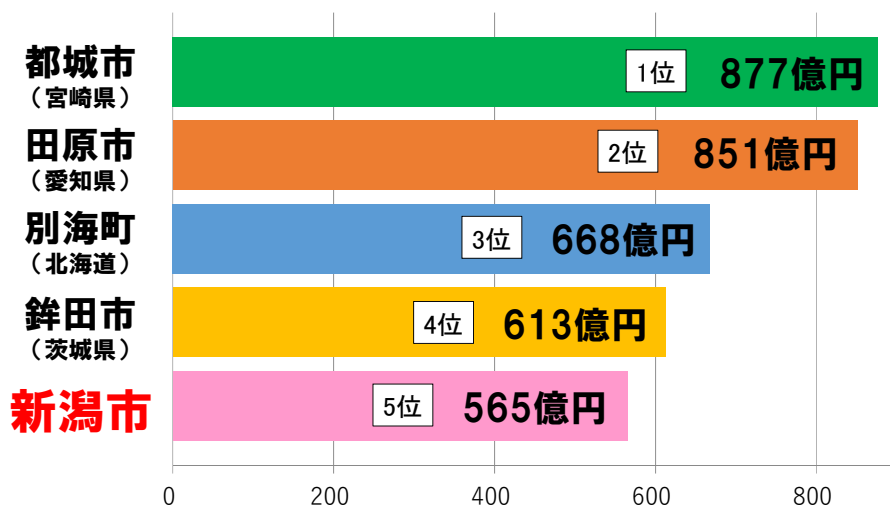
出典：新潟市「若者の市外転出の意向状況にかかるアンケート調査」（2019年度）

6

# 新潟市の現状（農業）

7

## 農業産出額【全国比較】（令和元年）



出典:令和元年 市町村別農業産出額(農林水産省)

8

## 花きに関するデータ

### 花きの品目別、都道府県別産出額

#### ◆新潟県の全国順位

- ゆり(切り花類)…**第1位(31億円)**
- チューリップ(切り花類)…**第1位(6億円)**
- 花木類(鉢もの類)…**第2位(19億円)**



出典：農林水産省「花木等生産状況調査」(平成30年)

9

### 花きの作付(収穫)面積及び出荷量

#### ◆新潟県の全国順位

品目	作付(収穫)面積	出荷量
ゆり(切り花類)	<b>第1位</b> (11,500a)	第3位(11,200千本)
球根類	<b>第1位</b> (9,450a)	第3位(13,600千球)
鉢もの類	<b>第3位</b> (8,000a)	第6位(8,400千鉢)

出典：農林水産省「花き生産出荷統計」(令和2年)

10

## 平成30年市町村別農業産出額（推計）

### ◆新潟市の全国順位（上位順）

品目	全国順位	県内順位	産出額
米 	第1位	第1位	324億3千万円
だいこん 	第3位	第1位	20億9千万円
西洋なし 	第4位	第1位	5億4千万円
すいか 	第7位	第1位	20億2千万円
<b>花き</b> 	<b>第11位</b>	<b>第1位</b>	<b>24億5千万円</b>

出典：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」（平成30年）

11

## 花き類栽培面積・経営体数

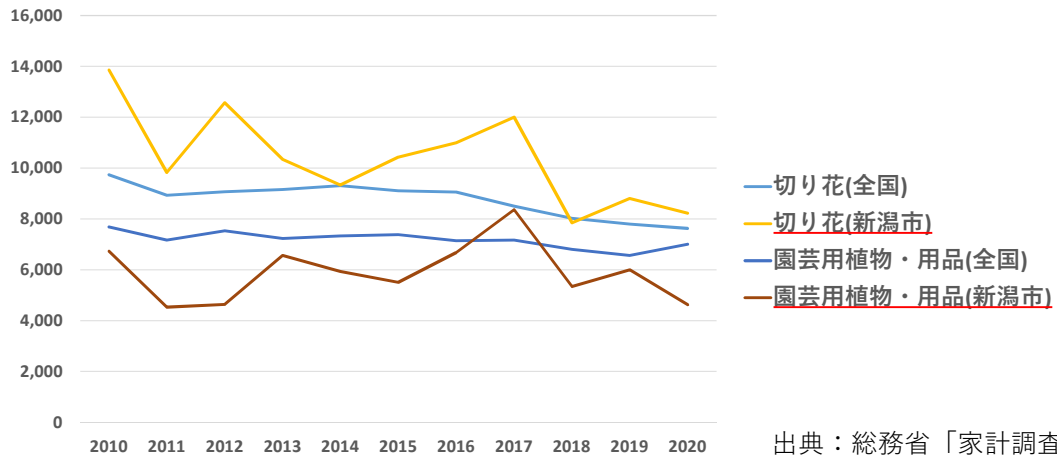
### ◆新潟市の全国順位

花き類	全国順位	県内順位
<b>栽培面積</b> (223ha)	<b>第5位</b>	<b>第1位</b>
<b>経営体数</b> (371経営体)	<b>第4位</b>	<b>第1位</b>

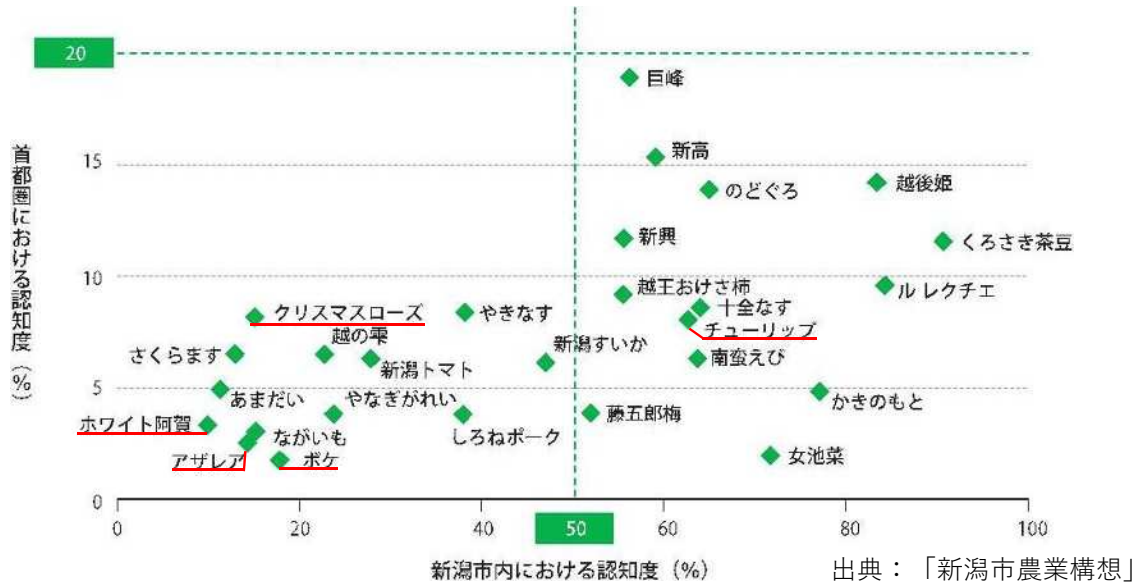
出典：「農林業センサス」（2015年）

12

# 1世帯当たり年間の品目別支出金額（総世帯）



## 首都圏及び市内における、食と花の銘産品の認知度



15

## 新潟市花育推進計画の策定

- 「新潟市花育推進計画」 （平成20年10月策定）
  - ・ 「食と花の政令市にいがた」として、豊かな自然・田園や花の生産地と都市が近接している利点を生かし、食育と並び「花育」を推進するため策定（計画期間：平成20年度～平成26年度）
- 「新潟市第2次花育推進計画」 （平成27年4月策定）
  - ・ 計画の成果と課題を整理し、基本理念を継承するとともに、より一層の「花育」推進を目指して策定（計画期間：平成27年度～令和4年度）
- 「新潟市第3次花育推進計画」 （令和5年4月策定予定）

16



## 計画の位置付け

- **「にいがた未来ビジョン」**（新潟市総合計画）  
（計画期間：令和5年度～令和12年度）
- **「新潟市農業構想」**：農業に関する分野別計画  
（計画期間：令和5年度～令和12年度）
- **「花育推進計画」**：花育に関する分野別計画  
（計画期間：令和5年度～令和12年度）  
**総合計画の方向性と整合、都市像の実現に寄与**

17

## 経済・社会情勢の変化

- 新型コロナウイルス感染症の影響
  - ・ 地域経済の疲弊と雇用情勢の悪化、コミュニティ活動の停滞
  - ・ 新しい生活様式の定着、デジタル化の進展、地方移住への関心の高まり
- 急速な人口減少、少子高齢化、若い世代の東京圏への流出
- 気候変動の深刻化、SDGs（持続可能な開発目標）や脱炭素への意識の高まり
- 民間事業者をはじめ、多様な主体との連携体制の構築、強化



目指す姿（将来のあるべき/ありたい姿）を検討

18

## 第3次花育推進計画策定のポイント

### ●花育推進計画を通じてSDGsを推進

- 持続可能な開発目標(Sustainable Development)とは  
将来世代のニーズを損なうことなく、現世代のニーズを満たす開発
- 「持続可能なまちづくり」とは  
**将来世代(未来のこどもたち)が住み続けられる新潟市**  
をつくること



# 持続可能な開発目標 (SDGs)について

## SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



## SDGsの構造

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など未だに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

## 人間の安全保障との関連性

我が国は脆弱な立場にある一人一人に焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方も一致するものです。

## SDGs達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGサミット」で、グテーレス国連事務総長は、「取組は進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からはほど遠く、今、取組を拡大・加速しなければならぬ。2030年までをSDGs達成に向けた『行動の10年』とする必要がある」とSDGsの進捗に危機感を表明しました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬刻に地球規模で拡大したことから明らかなように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。

SDGs達成に向けた道のりは決して明るいものではありません。だからこそ、「行動の10年」に突入した今、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。

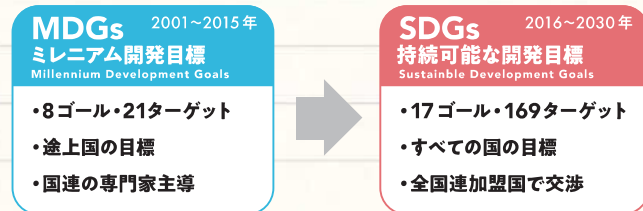
## SDGsの特徴

前身のMDGs(Millennium Development Goals：ミレニウム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。(図1)

しかしながら、これらの目標は、各国政府による取組だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。

まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

(図1)

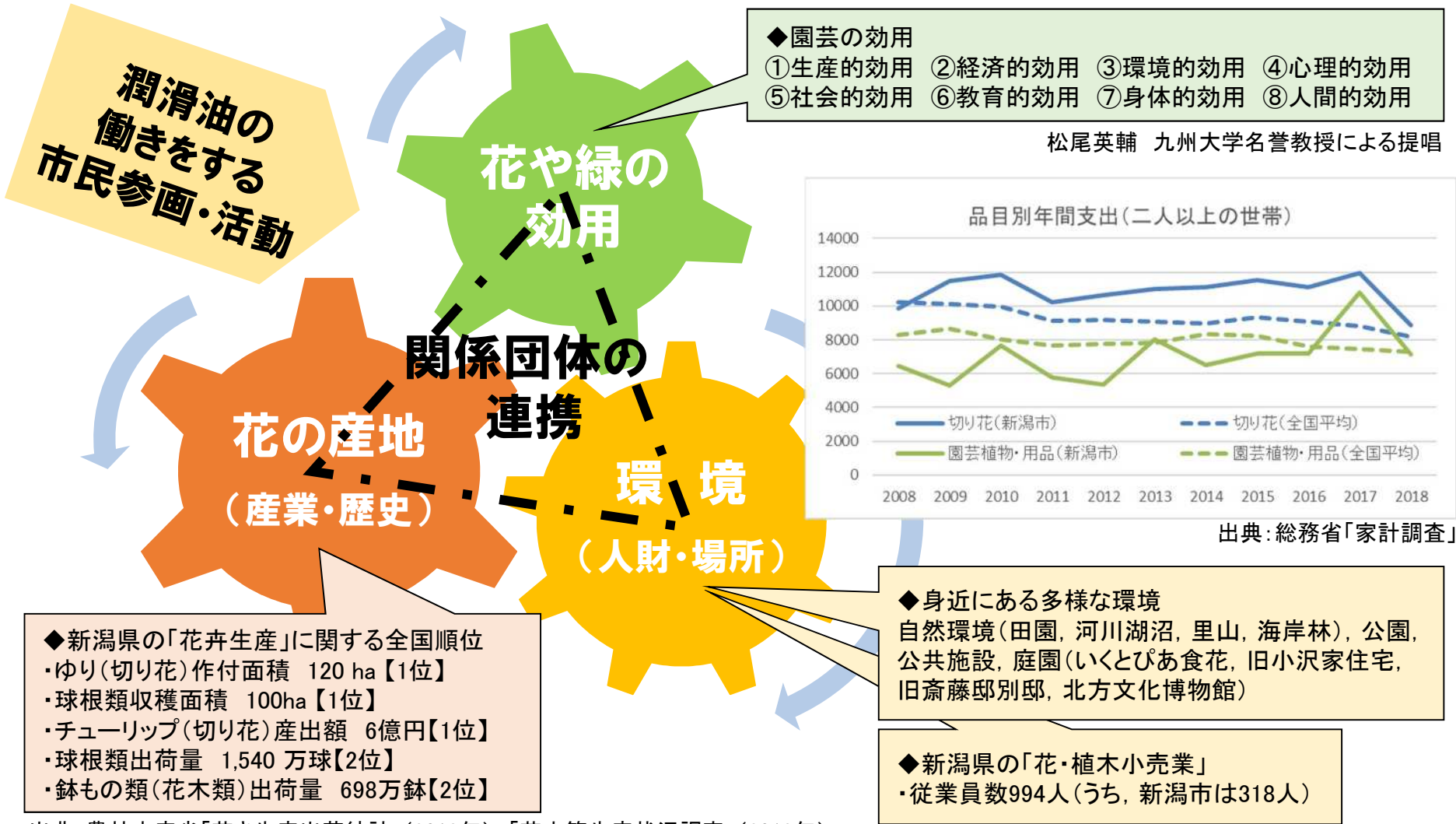


## 持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>目標1 [貧困]</b> あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	<b>2</b> 飢餓をゼロに	<b>目標2 [飢餓]</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>目標3 [保健]</b> あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>目標4 [教育]</b> すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう	<b>目標5 [ジェンダー]</b> ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に	<b>目標6 [水・衛生]</b> すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<b>目標7 [エネルギー]</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>目標8 [経済成長と雇用]</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう	<b>目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>目標10 [不平等]</b> 国内及び各国家間の不平等を是正する
<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを	<b>目標11 [持続可能な都市]</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<b>12</b> つくる責任 つかう責任	<b>目標12 [持続可能な消費と生産]</b> 持続可能な消費生産形態を確保する
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>目標13 [気候変動]</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう	<b>目標14 [海洋資源]</b> 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう	<b>目標15 [陸上資源]</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に	<b>目標16 [平和]</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう	<b>目標17 [実施手段]</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる		

# 新潟市が目指す花育について

花育とは、花や緑に親しみ、育てる機会を通して、優しさや美しさを感じる気持ちを育むこと。花卉の多様な機能に着目し、教育、地域活動に取り入れること。



## 第3次計画に向けた課題・方向性の整理

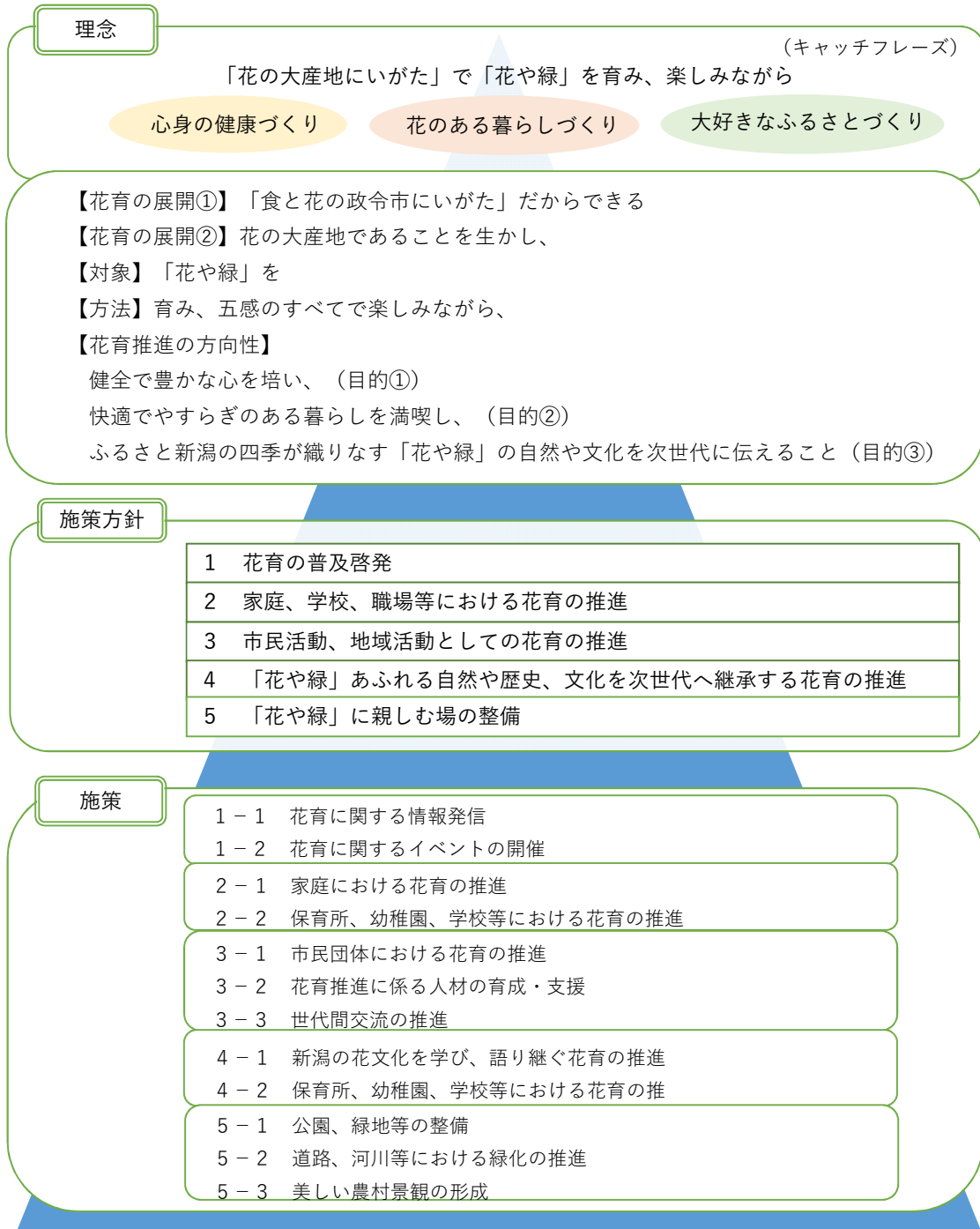
### 第3次新潟市花育推進計画策定スケジュール（案）

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内 容	第2次計画進行管理 各種照会			第2次計画現状把握 第3次計画方向性検討			骨子案検討		計画素案の検討			
花育推進委員会					○						○	
庁内会議							○				○	

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内 容	計画案の検討				計画案修正 (会議意見・アンケート反映)				議会 報告	パブコメ 実施	新計画 公表	令和5年度～ 第3次計画 開始	
花育推進委員会				○				○			○		
庁内会議		○				○							

# 「新潟市花育推進計画」の施策体系

## 理念、施策方針、施策の3層構造（現行計画）



第3次花育推進計画で目指す姿（目的）は？

【手段】花育 ⇒ 【目的】目指す姿

～新潟市の花育によって開く未来をデザインする～